Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第77回（10/7）　松尾七重先生推薦　ブックガイド

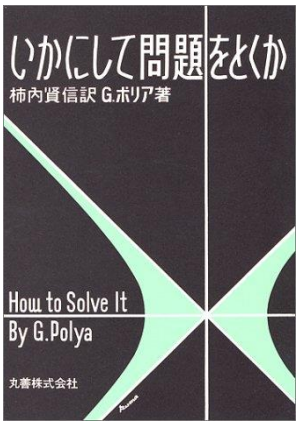
※掲載されている本はL棟2階　あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

いかにして問題をとくか

著者：G．ポリア 訳：柿内賢信　出版社：丸善

コメント：未知の問題に出会ったとき，どのように考えたらよいか――問題を解く筋道を，問題の理解，解決の計画，計画の実行，振り返りとして，数学者ポリア教授が数学の例で説明しています。創造力に富んだ発想法を示しています。数学に限らず，日々の問題解決に挑む私たちのためになる著書です。



Book2

算数・数学における図形指導の改善

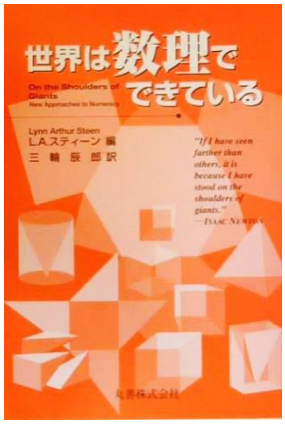
著者：松尾七重　出版社：東洋館出版社

コメント：図形の概念形成により，概念の関係を適用する経験を積み重ね，創造性豊かになることを可能にする図形指導について書かれています。子どもの問題状況を明らかにし，その原因を考察し，望ましい状態への向上を促す方策を提案するという展開になっており，数学指導の改善への一端を述べたものです。研究の過程を示した資料も付いており，学位取得を目指す数学教育研究の若手研究者に最適な著書です。

Book3

世界は数理でできている

※千葉大図書館では所蔵しておりません。

著者：L．A．スティーン編 三輪辰郎訳　出版社：丸善

コメント：学校で習う計算や公式を覚えること以上に，次元，量，不確実性，形，変化という，基本的な数学的視点をもつことが重要であること，また，それを身につけるために「遊び」がいかに重要であるかを，日常生活の中に現れる事柄や道具を使いながら解説しています。数学を学ぶ意義を考えるために役立つ著書です。